

# 労働者は一つでこそ

## にぎわった盆踊り大会

宮内社宅

お盆休みの十四・十五日両日の夜は、宮内社宅は盆踊り大会でにぎわった。

盆踊りは宮内地域分會が主催する夏にはなくてはならない催しで三十五年の三池闘争のころ一度中断したばかりで、もう十五・十六もつづけてきてきているもの。

同社宅の浴場裏の広場に、つらえられて、三池闘争のシンボルのマークが電光で輝く高さ八メートルのやぐらを中心に、子どもたちと親たちが楽しく踊った。なかに「足手まといになるような幼な児も輪のなかにいる仕末でした」と一分会員は語ったが、もう三池闘争と新労と三建組夫といった区別なんか見事ふつとんでしまつて踊る者、見る者、夏の夜を思ふ存分に楽しんだ。

みんな同月四日から十二日までの前もつての練習で、新九州小唄・世界の国からこんにちは・炭鉱ふしなどの踊りが三曲に、他にフォークダンス四曲を身につけていたのだから、とりわけ心もはずんだことだった。

同地域分會の心づくしは、踊りやダンスのほかに、のど自慢、友情出演のエレキバンド、大魔術、あるいは四山支部のギターサークル(三池闘争のなから生まれ、いまにひきつがれながら、現に平和友好祭、納涼船などで活躍している)の出演などとなり、わけても分會役員たちを中心とするフラダンスの演しものがカッサイを博していた。

この分會の催しに際しても、会



盆踊り大会がよく教えている。

### 子らよ元気に

#### 日向葵で地蔵祭

例年行なわれる緑ヶ丘日向葵地域の地蔵祭は、今年も八月二十四日夜地域ぐるみで行なわれた。

子どもたちの病気をふせぐ力をもつという地蔵さん前の広場には約二百人の子どもたちがあつまり、地蔵さんになやみとササとお菓子を地域のおじさん、おばさんからもらい、地域分會主催の映画会をたのしんだ。

### 日放の支援 決議に感謝を

日放送(NHKの労働組合)はさきの大会で「三池の闘いを支援する決議」を行ない、このほど正式文書をもって、その主旨が贈られてきました。紙上から深く感謝したいと思ひます。

なほ、文書は「CO特別法」が成立するまでに、長い年月を必要とした。不屈なそのたたかいが勝ち取った「勝利の旗である」とたたえながらも、「しかし法案に明文化できなかった解雇制限の問題

## 学んだ三池の成果

### 原水禁大会に参加して

原水爆禁止と平和をねがうすべての人々にとって、忘れることのできない日八月六日・九日。その両日を中心に開かれた、被爆二

十周年原水禁世界大会はきわめて重要な使命をなしています。いま私たちがとりまく国内および世界情勢はかつてなくきびしくまた私たちの責務はさらに重大になっています。

ベトナム戦争は国際戦争の危機を日まじしに深め、それとともに日本の戦争協力と核武装化はさらに急速にすすめられようとしています。「ベトナムを、ヒロシマ・ナガサキにするな」という私たちの願いを、すべての国民のものにじ得るかどうかが、私たちの運動を平和への希望と交えて前進させ得るかどうかが、その重要な課題がこの原水禁大会にかけられています。

長崎大会に参加した私たち八千



「かあちゃん頑張れ」の手紙も来たり

負けるもんか

父ちゃんをこんな目にあわした奴と闘っているかあちゃんに

負けずエンヤコランヨ

精一杯頑張っているから安心しな

## 手紙

### 筆名なし

坑内に座りこんでいるかあちゃんから来た手紙

切手のない 少し汚れた

四角な封筒

一枚の手紙に便りがヒシヒシ

戸じまりをよくしてとか

遊ぶとき車に気をつけてとか

何でもかぶがぶ食って たりかぶらんごつとか

ばあちゃんのことよくきいて

兄妹ゲンカをせず勉強しなとか

ほんとに苦労が多い

かあちゃん

そしてかあちゃん最後は書いてある

「元気で頑張っている」

と

字がにじんでいる跡がある

かあちゃんの涙の跡も知れぬ

俺は

そのかあちゃんの手紙に返事を書いてやった

ミンゴも

ばあちゃんも

俺も

ハツチリ団結しているから心配で無用と

それにかあちゃん

俺は昨日学校の水泳大会で一等になったし

東京のおはあちゃんから

(四山支部第七分會の 転場新聞から)

## 短歌

兵庫県評 吉川あき子

健やかにすこせしころの夫のびかりに燃えてすわりこむ主婦

事故現場にすわりこみたる主婦たちのたぎる怒りをわれものびて

この短歌は吉川さんから、CO家族の一人「塚元栄子」さんあてに、郵便で届けられたものです。

### 福岡母親大会に参加して

日常自分の身のまわりに起きていることを再認識すると同時に反戦平和の闘いのためにも、命を守る闘いを基調とする反合理化闘争を強化しなければならぬことを確認致しました。

宮崎勝・板橋京一 羽江英雄

世界の中の、日本の、母親の同じ願いをこめて、子どもの幸福のために、社会の平和のために、母親はなにをなすべきかを話し合う場を求めて、八月二十日、福岡市で開かれた母親大会に、三池からは主婦会から二十二名、CO家族六名参加しました。(二十名)

森川えみ子

私はこの大会に参加しまして、いかに自分の知識、行動のせまかったかを反省させられました。これからはみなさんとともに、もっと話し合い、学習し、行動を起し母親運動、主婦会運動に努力したいと思ひます。(以上は要旨)

## 心からおわびを

### 「三池の闘い」中止の不徹底について

▼この種「東京都の一都民より」の匿名で、次の手紙が組合に届きました。

「私は七月二十三日の日曜日に合唱詩劇「三池の闘い」を見に文京公会堂に出かけたところ、総評大会が前日終了したのと共に、三池の闘いの上演もとりやめたということでした。せめて文京公会堂の前に小さな紙でよいから「中止」の知らせを出し、上演中止を知らせることにして

▼このことはあとで聞いて知りました。自分たちの注意力の足りなさから、とんでもない手違いを生じてしまったことをきびしく反省しています。

もちろん文京公会堂における同詩劇の上演は、東京都労働組合評議会の主催によるものでしたから、上演中止を知らせることは、

は、当然同評議会で善処されているものとはかり、安易に思いこんでしまつて、自からたしかめることをしなかつた点を恥じている次第です。

「一都民」の匿名では、おわびするにも方法がありませんが、もし本紙の購読者の間にも、以上の事情から迷惑かけた方がおおいででしたらと思い、紙面を借りておわび申し上げる次第です。本当にすみませんでした。何卒よろしくお願ひ致します。

三池の闘い、参加者一同